

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

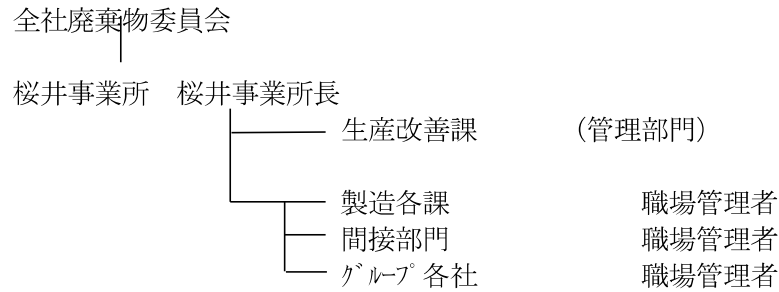
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 元 年 6 月 2 6 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県安城市藤井町東長先 8 番地 1	
氏 名 株式会社 イノアックコーポレーション桜井事業所	
事業所長 山谷 和豊	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 050-3145-5831	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社 イノアックコーポレーション 桜井事業所
事 業 場 の 所 在 地	愛知県安城市藤井町東長先 8 番地 1
計 画 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	1 8 プラスチック製品製造業
② 事 業 の 規 模	製品出荷額 1 7, 9 5 0 (百万円)
③ 従 業 員 数	5 6 9 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製品製造 ・ 廃プラ 再生業者に委託して、燃料化 (R P F 等) ・ 廃アルカリ 中間処理業者に委託中和処理後、焼却し一部熱回収 ・ 汚泥 中間処理業者に委託して、油水分離・脱水処理後、焼却 ・ 木屑 中間処理業者に委託して破碎後、チップとして燃料化 ・ 廃油 中間処理業者に委託して、油水分離処理後、焼却 ・ ガラス・陶磁器屑 再生業者に委託して破碎し再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙①のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、木屑、廃油等は、それぞれに分別し、管理している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 分別に関する取組として従業員教育や分別強化により廃棄物削減を行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙②のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙 ①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
① 現状	【 前年度（平成30年度） 実績 】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃アルカリ	汚泥	木屑	廃油	ガラス・陶磁器	廃酸	
	排出量	426 t	42 t	88 t	13 t	25 t	0.4 t	4 t	
	（ これまでに実施した取組 ） ・ 廃油などは、水分との混じった物は、簡易での油水分離処理をする。 一部の廃油を有価物として処理する ・ 職場での異物混入防止を徹底する。								
②計画	【 目標 】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃アルカリ	汚泥	木屑	廃油	ガラス・陶磁器	廃酸	
	排出量	400 t	40 t	80 t	10 t	5 t	0.4 t	4 t	
	（ 今後実施する予定の取組 ） ・ 廃油などは、水分との混じらないように個々で回収する。 ・ 廃油全般は、すべて簡易油水分離で有価化を進める ・ 分別用の専用回収箱等の増設による分別細分化。 ・ 木屑と木パレットを分別して再利用化 ・ 廃プラの樹脂別の分別の徹底化								

別紙 ②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【 前年度（平成30年度） 実績 】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃アルカリ	汚泥	木屑	廃油	ガラス・陶磁器	廃酸	
	全処理委託量	426 t	42 t	88 t	14 t	26 t	0.4 t	4 t	
	優良認定処理業者への処理依頼	426 t	42 t	39 t	14 t	26 t	0.4 t	4 t	
	再生利用業者への処理委託量	280 t	42 t	0 t	14 t	26 t	0.4 t	4 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	（これまでに実施した取り組み） ・産廃処理の方法で再生・リサイクルなどへの提案を常に業者に依頼し改善を進めている。 ・産廃を有価物として利用する方法の提案の依頼								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
②計画	【 目標 】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃アルカリ	汚泥	木屑	廃油	ガラス・陶磁器	廃酸	
	全処理委託量	400 t	40 t	80 t	10 t	5 t	0.4 t	4 t	
	優良認定処理業者への処理依頼	400 t	40 t	40 t	10 t	5 t	0.4 t	4 t	
	再生利用業者への処理委託量	300 t	40 t	0 t	10 t	5 t	0.4 t	4 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取り組み) ・分別教育の取り組みによる現場分別での混合物の削減と焼却処理の削減。 ・処理方法の変更等による処理の改善や有価物化を進める。 ・液物廃棄物でも、粘度による分別で処理価格の改善を進める								